



南阿蘇村立南阿蘇中学校 学校だより

ハーモニー



R3. 9. 10(金) No.19 小柳 弘志

〇〇の秋

芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋、音楽の秋、実りの秋、食欲の秋、収穫の秋、紅葉の秋、行楽の秋、睡眠の秋、・・・と秋に関する言葉は数多くあります。それだけ、人が活動するのにも休むのにも良い季節だということでしょうか。9月上旬も過ぎますが、今後の9月の予定をお知らせしておきます。

9月3～15日：身体測定(1クラスずつ行っています。)

9月14日(火)：火災避難訓練(6時間目：全学年)

9月15日(水)：英検I B A挑戦(2～4時間目：学年毎に)

※9月16日(木)：郡市中体連陸上競技大会・・・中止になりました。

9月30日(木)：1年阿蘇火山博物館見学・草原学習

※なお、10月24日(日)に年度当初予定していました「学習成果発表会」は昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止になります。

「ヤングケアラー」をご存じですか？

厚生労働省のサイトによると、ヤングケアラーとは「家族に介護を必要とする人がいる場合に18歳未満の子供が家事・介護・精神面のサポートなどの大人が担うような責任を引き受けること」とされています。ヤングケアラーの存在が、日本社会においても認知され始めています。

2021年4月12日に厚生労働省と文部科学省が発表した、中高生対象の全国調査の結果では、「世話をしている家族がいる」と回答した中高生の割合が思いがけず多いことが明らかになりました。中学生では、およそ17人にひとりの計算となる5.7%。高校生ではおよそ24人にひとりの計算となる4.1%が、家族の世話をしています。世話をしている対象は祖父母や両親、きょうだい、親族など幅広く、思春期の子どもたちが直面する大きな問題が浮き彫りになっています。もちろん、暮らしの中で家族の仕事やお世話をすることは大切なことですし、自分の将来の生きる力にも結びつくもので、学校でも奨励していますが、ここで問題となっているのは、子どもの家庭での生活時間の多くがそのことだけになっている現実もある場合です。学校のない時間に少しだけ家の手伝いをする、といったレベルではなく、状況によっては家族の世話だけではなく家事などすべて担っている場合もあります。ヤングケアラーとして家族の世話を続けることは、並大抵のことではありません。それに伴い、子どもの学業やコミュニケーション、進路などにも大きな影響が生じます。

- ・学業の遅れ
- ・睡眠時間の大幅な減少
- ・進学を諦めなければならない
- ・早退や遅刻の増加
- ・部活動に参加できない
- ・コミュニケーション能力の成長阻害
- ・不登校
- ・友達と遊びに行けない

この問題は、個人の問題ではなく、社会全体の問題として福祉、介護、医療、教育等、関係機関が連携し、ヤングケアラーを早期に発見して適切な支援につなげる必要があるといわれています。そのため、熊本県でも中学2年生と高校2年生を対象にアンケート調査を実施し、問題を解決するのに必要な支援策を今後、検討していきます。

9月16日から2年生はタブレットを使い、学活の時間等で実施します。詳しい説明は学校で行います。なお生徒回答用アンケートの内容は下記のURLにあります。

https://s-kantan.jp/pref-kumamoto-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=5553

2年生の保護者の皆様には別紙で県教育委員会の文書を配付しています。質問のある保護者の方は学校までご連絡ください。今回のアンケートの趣旨にご理解のほどよろしくお願ひします。